

岩手県教育委員会教育長 高橋嘉行 様

2017年6月15日

日本共産党岩手県議団

齊藤 信

高田 一郎

千田美津子

葛巻町議会議員

畑福 弘

県立葛巻高校の学級減の計画見直しを求める申し入れ

新たな県立高等学校再編計画が昨年3月29日に策定されました。この再編計画は、基本的には地域からの要望と協議を踏まえた計画と評価できるものです。再編計画の4つの視点では、「地域との連携をより一層推進することで、人口減少社会における今後の岩手の復興、発展を支え」「各市町村の地方再生の取り組みを踏まえつつ、地域との連携を図ります」「広大な県土等の地理的条件を考慮した教育の機会均等の保障」などを掲げました。

そのうえで、中学校卒業者の減少を踏まえて、前期5ヶ年の統合と学級減の計画が示されました。この具体的な計画の進め方にあたっては、地域との連携をより一層勧め、各県立高校と地元自治体の取り組みを踏まえて実施すべきです。

県立葛巻高校は、2017年度の新入学生は51人を確保し、2学級規模の新入生となりました。葛巻町と葛巻高校の山村留学制度や通学支援など様々な支援制度と努力によるものです。また、進学・就職でも、国公立大学に毎年10人近くが合格し、就職も100%実現するなど成果を上げています。葛巻高校は、高校再編計画では、来年度1学級減の1学級規模の定員となっています。葛巻高校と地域の努力の成果を踏まえて、学級減の計画を柔軟に見直すことを以下の通り申し入れるものです。

記

- 1、県立高校再編計画による来年度の県立葛巻高校の学級減の計画は、今年度の入学生の実績と地域の取り組みを踏まえて見直すこと。
- 2、地域との連携をより一層推進し、地域に必要な県立高校が維持できるように県教委、市町村と市町村教委、地域住民との連携した取り組みを強化すること。
- 3、1学級規模の高校での、進学と就職の支援が十分できるよう、教員の加配措置などの対策を講じること。

以 上